

2013年10月3日

社会的責任投資（SRI）の株価指標DJSI Asia Pacificの構成銘柄に採用

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）は、世界的に認知度の高い社会的責任投資（SRI）※1の株価指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス（DJSI Asia Pacific）」の構成銘柄に選定されました。また、「Home Construction Sector(住宅建設部門)」において最も評価が高い企業として「Industry Leader」に選定されています。当社はDJSIに2005年に初めて選定されて以来、9年連続での採用になります。

DJSIは、米国のダウ・ジョーンズ社※2と、スイスのSRIに関する調査専門会社であるロベコSAM社が共同開発した株価指標で、経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性を評価するものです。

DJSI Asia Pacificは、アジア・オセアニア地域の主要企業約600社を対象に評価し、今年度は152社（うち日本企業68社）が選定されました。

なお、当社は、この他に、FTSE社が選定する「FTSE4Good Global Index」およびモーニングスター社が選定する「MS-SRI」の構成銘柄にも採用されています。

創業以来、320余年にわたり「木」という再生可能な資源を活かし、総合住生活関連事業をグローバルに展開している当社グループは、持続可能な社会の実現に向け、「環境」・「社会」・「経済」における社会課題の解決に事業を通じて貢献する企業方針のもと、今後も地域社会と共に発展していくことを目指し、企業価値の向上を図ってまいります。



※1 企業への株式投資の際に、財務的分析に加えて、環境配慮や社会的活動など、企業の社会的責任の評価を加味した投資手法。

※2 アメリカの経済新聞「The Wall Street Journal」などを発行している出版社。ニューヨーク株式の指針として幅広く活用されている「ダウ・ジョーンズ工業平均株価」を算出していることでも知られる。

以上

《本件に関するマスコミお問い合わせ先》
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 飯塚
TEL 03-3214-2270